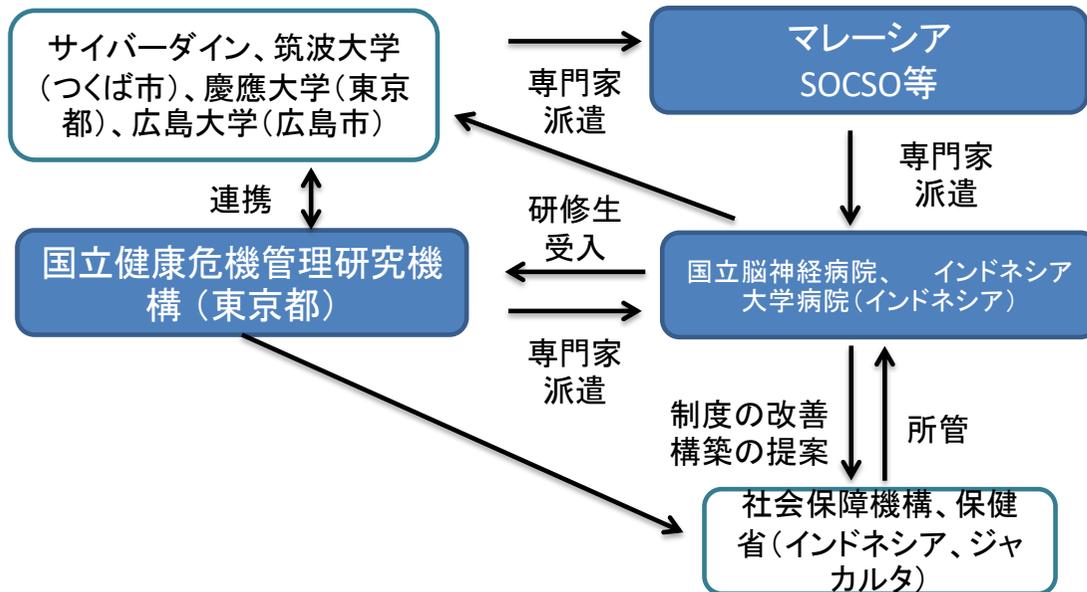


マレーシアをマスタートレーナー国とした東南アジア各国の労働者保障機構に対するサイバニクス治療に関する臨床技術の強化及び資格者育成事業

- ① 東南アジア各国では生活習慣や交通事故による労働人口世代へのリハビリテーションのニーズが高い。しかしインドネシアをはじめとして各国は属人的なリハビリテーションを少ない理学療法士で行なっている為、効率的なリハビリテーションの導入が期待される。インドネシアの保健省、従業員社会保障機構は本件に大きな問題意識を持っている。フィリピン、タイも同様である。
- ② サイバニクス(HAL)の普及を目的としてインドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムを中心とした医療従事者へのトレーニングを実施する。
- ③ HALの治療経験が豊富である筑波大学、慶應大学、広島大学が理学療法士学会と連携してインドネシアの社会保障機構の関連病院や政府系の公的病院へトレーニングを行う。フィリピン、タイ、ベトナムに関しても同様のプログラムを展開する。
- ④ 本トレーニングを通じてインドネシアの公的病院内でHALを完全に理解したマスタートレーナーを2025年中に育成する。育成したマスタートレーナーを通じてインドネシア、ジャカルタ地域の病院におけるHALと普及と国の現状に即した効果的な治療を確立する。フィリピン、タイへの展開も同時に行う



- ＜研修スケジュール予定＞
- 6月、7月 研修生受入(10名)
- ・日本のリハビリテーション制度の学習
 - ・HALの技術の学習
 - ・HALの実技習得
 - ・効果的なリハビリ計画作成の学習
- 10月、11月、12月 日本やマレーシアからインドネシア、フィリピン、ベトナムに専門家を派遣(10名)
- ・政府保健省管轄病院へのHALのレクチャーの実施
 - ・保険適用に向けたHALの効果検証の打ち合わせ
 - ・各国マスタートレーナーによるトレーニングのサポート
- 8月 専門家派遣(12名(日本、インドネシア、フィリピン、タイ、ベトナムより))
- ・サイバニクス治療に関するセミナー開催